

(仮 訳)

プレス・リリース

2015 年 11 月 18 日

金融安定理事会

金融安定理事会が証券金融取引のグローバルなデータ収集・集計に関する 基準とプロセスを公表

金融安定理事会 (FSB) は、本日、「証券金融取引のグローバルなデータ収集・集計に関する基準とプロセス」と題する報告書を公表した。

証券貸借取引やレポ取引といった証券金融取引は、様々な証券の価格発見と流通市場の流動性を支えるという極めて重要な役割を果たしている。しかしながら、こうした取引は、市場参加者がレバレッジを掛けたり、満期や流動性が一致しないエクスポージャーを持つためにも使われ得る。

証券金融市場に関するデータ収集の強化は、当局がこれらの市場の動向について、よりタイムリーかつ包括的に把握し、金融安定上のリスクを特定するために必要である。このデータは、FSB の「清算集中されない証券金融取引に関するヘアカット規制の枠組み」の実施の際にも有用であろう。また、データは、これらの市場の透明性を高めることで、幅広い市場参加者のニーズや経済活動に資するだろう。

この最終化された基準とプロセスは、国内/域内当局が金融安定上の目的から FSB に集計データとして報告することを求められる、レポ取引、証券貸借取引、マージン・レンディング取引についてのデータ項目を定めている。この基準とプロセスは、報告者から国内/域内当局、次いで国内/域内当局からグローバルレベルへのデータ収集・伝送に関する、データ収集構造についても記載している。整合性を確保し、意義あるグローバルな集計データを得るため、国内/域内当局に対する 6 つの提言が定められている。更に、集計データの利用可能性が論じられているほか、基準とプロセスの実施時期を含め、本取組みの完了に向けた今後のステップが示されている。

FSB は、公式なグローバルのデータ収集・集計を 2018 年末に着手することを見込んで、詳細な運用上の取決めに関する作業を開始する。国際決済銀行は、その国際銀行業務と金融統計に関する専門性を活用し、データ収集と集計された

証券金融データの潜在的な情報発信に関する運用上の支援を行うことで同意した。

本基準とプロセスに関する市中協議文書は、2014年11月に公表された。基準とプロセスの最終化にあたっては、FSBは市場参加者と緊密に連携をとっており、見解の共有のため、時間と労力を費やしていただいた市場参加者に御礼申し上げたい。FSBは、証券金融取引のグローバルなデータ収集を実施する際にも、このような協働を継続する予定である。

注記

2010年のソウル・サミットにおけるG20首脳からの要請を受け、FSBはシャドールバンキングの監視及び規制の強化のため、以下の手法に焦点をあてて政策の策定に連携・貢献してきた。

- (i) 銀行がシャドールバンキング主体と関係性を有することによるリスクの低減
- (ii) MMFの取り付け騒ぎの発生しやすさの低減
- (iii) 証券化の透明性向上と証券化に付随するインセンティブの調整
- (iv) レポ取引や証券貸借取引等の証券金融取引に付随する景気変動増幅効果やその他金融安定上のリスクの削減
- (v) その他のシャドールバンキング主体によりもたらされるシステムック・リスクの評価及び抑制

「シャドールバンキングシステム」とは、「（完全に又は部分的に）通常の銀行システム外の主体又は活動による信用仲介」、又は端的にノンバンクによる信用仲介と広く記述することができる。そのような仲介は、適切に行われた場合には、銀行融資に代わる、実体経済活動を支える重要な手段となる。しかし、危機から得られた経験は、いくつかのノンバンク主体及び取引が、金融の安定に対して銀行類似のリスクをもたらすような形（短期の資金調達に基づく長期の信用提供やレバレッジ）で大規模に機能し得ることを示している。そのようなリスクの発生は、取引主体レベルで起こるかもしれないが、レバレッジと満期変換を段階的に発生させ、通常の銀行システムに対し様々な形でフィードバックを与えるとといった、取引の連鎖を通じて生じる可能性もある。

本日公表の最終化された基準とプロセスは、2013年8月に公表された「証券貸借・レポ取引のシャドールバンキングリスクに対処するための政策提言」（上記

の(iv)に該当)の中で示された政策提言に基づく。2015年11月12日、本政策提言の一部として、FSBは「清算集中されない証券金融取引に関するヘアカット規制の枠組み」を公表した(プレス・リリースを参照)。

FSBは、各国金融監督当局および国際基準設置主体の取組みの国際的水準での調和、実効的な規制、監督、その他金融の安定に資する政策実施の発展および促進のために創設された。FSBには、24の国・地域の金融の安定に責任を有する当局と、金融に関する国際機関、業態毎の規制・監督当局の国際団体、中央銀行の専門家委員会が参加している。

FSBの議長はマーク・カーニー英中銀総裁であり、事務局はスイスのバーゼルの国際決済銀行内に置かれている。FSBについての詳細は、FSBのウェブサイトを参照されたい。